

定期券運賃検索（１）

定期券の運賃検索システムを、作ってみます。今回は、鉄道路線 1 つのパターンで作ります。駅名選択には、リスト形式の入力規則を使います。関数では、Index 関数や Match 関数といった、検索／行列関数を使います。

１．運賃一覧シート

- ①エクセルを起動し、シート名を「相鉄線」にします。
- ②下図のように、１ヶ月の定期券代（平成 27 年現在）を表にします。（デザインはご自由に。）

	A	B	C	D	E	F
1	駅名	二俣川	希望ヶ丘	三ツ境	瀬谷	大和
2	二俣川		4270	5580	6290	7070
3	希望ヶ丘			4270	5580	6680
4	三ツ境				4270	5580
5	瀬谷					4270
6	大和					
7						

〔問題 1〕

対角線部分は、0 円。対角線を軸として、料金は線対称になります。いちいち手入力せずに、空白部分を埋めるには、どうしたらいいでしょうか。工夫して、表を完成してみましよう。

	A	B	C	D	E	F
1	駅名	二俣川	希望ヶ丘	三ツ境	瀬谷	大和
2	二俣川	0	4270	5580	6290	7070
3	希望ヶ丘	4270	0	4270	5580	6680
4	三ツ境	5580	4270	0	4270	5580
5	瀬谷	6290	5580	4270	0	4270
6	大和	7070	6680	5580	4270	0
7						

〔解答 1〕

いくつか、方法が考えられます。悩んでみましょう。

- ③数値を、桁区切りスタイルにします。表全体を選択（※部分をクリック）して、「ホーム」タブ→「桁区切りスタイル」。

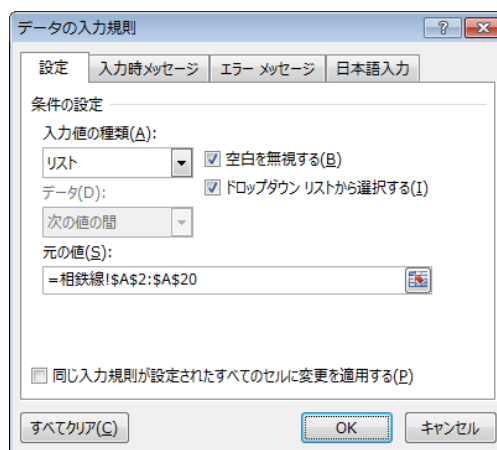
2. 料金検索シート

①新しいシートを追加し、シート名を「料金検索」にします。

②右図のような表を、作ります。(デザインはご自由に。)

	A	B
1	定期券運賃検索	
2		
3	路線	相鉄線
4	駅1	
5	駅2	
6	定期券代	
7		

③B4セルの駅名を、ドロップダウンリストから選べるようにしましょう。B4セルを選択して、「データ」タブ→「データの入力規則」→「データの入力規則」。「リスト」を選び、「元の値」を、「相鉄線」シートのA2～A20セルにします。



④③と同様にして、B5セルは、「相鉄線」シートのB1～Z1セルがリスト表示されるように設定してください。

[確認]

B4セルを選択して、リストから「瀬谷」を選んでみましょう。

B5セルを選択して、リストから「大和」を選んでみましょう。

[問題 2]

(1)D4セルに、「B4セルで選んだ駅が、運賃一覧表の何行目にあるか」を表す関数を、入力してください（「瀬谷」の場合は4行目）。

(2)D5セルに、「B5セルで選んだ駅が、運賃一覧表の何列目にあるか」を表す関数を、入力してください（「大和」の場合は5列目）。

[解答 2]

(1) =Match(B4,相鉄線!A2:A20,0)

(2) =Match(B5,相鉄線!B1:Z1,0)

Match(検索値,検索範囲,照合の種類) という書式。「照合の種類」は 0=完全一致。

[問題 3]

D4・D5セルの数値を利用して、B6セルに、運賃一覧表の適切なセル内容が表示されるように、関数を入力してください。

[解答 3]

=Index(相鉄線!B2:Z20,D4,D5)

=Index(配列,行番号,列番号) という書式。

	A	B	C	D
1	定期券運賃検索			
2				
3	路線	相鉄線		
4	駅1	瀬谷		4
5	駅2	大和		5
6	定期券代	4270		